

## シラバス

沖縄県立那覇西高等学校

| 科目名      | 単位数 | 学年 | 必修・選択 | 対象学科  | 備考 |
|----------|-----|----|-------|-------|----|
| 数学セミナー I | 2   | 3  | 選択    | 国際人文科 |    |

## 1. 科目概要および目標

数学 I・A で学んだ内容を復習し、基本的な原理・法則の理解を深め、具体的な事象の考察を通し、更にさまざまな問題を解くことで入試に対応できる応用的な知識を深める。また、読解力・理解力・解析力・問題解決に必要な思考力をつける。

## 2. 使用教科書・教材

第一学習社 ネオパル数学 I・A  
センター対策問題集、過去のセンター問題

## 3. 授業の展開と形態

1 年時の復習になるので、問題演習を中心にすすめていく。  
センター試験が 1 月中旬にあるので、2 学期末までに終わるようにする。

## 4. 学習方法

授業において・・・必ずノートと鉛筆を準備し、自分で解くことにより学習内容定着と、自分の弱点が確認できるようにする。答えを眺め、わかったつもりになる人が多々見受けられるが、数学力をつけるために解答解説に頼らないことの指導を徹底する。

家庭学習をする・・・学校の授業だけでなく、家庭において自ら問題集・参考書を開いて勉強する事を奨励し、予習復習の機会を増やし、学習内容をより深い理解と定着を図る。

## 5. 履修上の留意点

## (1) 科目選択をする際考慮すべき事項

- ① 受験対策の科目なので、自分の進学先の受験科目を確認し、必要性を感じる生徒に履修してもらいたい。

## (2) 就職・進学試験等と関連しての注意事項

- ① 大部分の大学・学部、看護・医療形専門学校では入試科目となっている。  
就職に関しても数学 I・A は一般常識の範囲として試験を課す企業もある。

## 年 間 授 業 計 画

| 月   | 章                | 節                                   | 単 元   | 配時 | マーク欄 |
|-----|------------------|-------------------------------------|---|----|------|
|     |                  |                                     | オリエンテーション   | 1  | /    |
| 4月  | <第1章><br>数と式     | 1. 整式<br>2. 実数                      | 1. 整式の乗法<br>2. 因数分解<br>3. 絶対値・平方根                               | 8  | /    |
| 5月  | <第2章><br>方程式と不等式 | 1. 2次方程式<br>2. 不等式                  | 1. 2次方程式・応用<br>2. 絶対値と方程式・不等式<br>3. 問題                          | 8  | /    |
|     | <第3章><br>2次関数    |                                     | ◎定期考査(中間)   |    |      |
| 6月  | <第4章><br>図形と計量   | 1. 最大・最小<br>2. 関数と方程式<br>3. 関数と不等式  | 1. 2次関数の最大・最小と応用<br>2. 2次関数のグラフと $x$ 軸との交点<br>3. 2次関数のグラフと2次不等式 | 8  | /    |
| 7月  |                  | 1. 三角比<br>2. 正弦・余弦定理<br>3. 図形の計量    | 1. 正弦定理<br>2. 余弦定理<br>3. 図形の面積                                  | 8  | /    |
|     |                  |                                     | ◎定期考査(期末)   |    |      |
| 9月  | <第1章><br>個数の処理   | 1. 集合・場合の数<br>2. 順列・組合せ<br>3. 二項定理. | 1. 共通部分・和集合・補集合<br>2. 順列・組合せ<br>3. 二項定理                         | 8  | /    |
| 10月 | <第2章><br>確率      | 1. 確率の意味<br>2. 独立な試行<br>3. 応用と期待値   | 1. 確率の基本性質<br>2. 独立試行・反復試行<br>3. 確率の計算・期待値                      | 8  | /    |
|     | <第3章><br>図形と論理   |                                     | ◎定期考査(中間)   |    |      |
|     |                  | 1. 命題と論理                            | 1. 命題と集合  | 8  |      |
| 11月 | センター対策           | 総復習                                 | 過去のセンター問題   | 8  | /    |
| 12月 |                  |                                     | ◎定期考査(期末)   |    |      |
| 1月  | センター対策           | 総復習                                 | 過去のセンター問題   | 5  | /    |
| 2月  |                  |                                     |   |    |      |

### 評価の観点、内容及び評価方法

| 学期 | 評価の観点     | 内 容  | 評 価 方 法                           |
|----|-----------|--|-----------------------------------|
| 1  | 関心・意欲・態度  | 方程式と不等式、2次関数、図形と計量における考え方に興味をもち、事象の考察に活用しようとする。  | 授業時の様子、発表<br>ノート確認 小テスト<br>課題レポート |
|    | 思 考 ・ 判 断 | 方程式と不等式、2次関数、図形と計量における数学的な見方、考え方を身につけ、事象を論理的に考える | 授業時の様子、発表<br>ノート確認 小テスト<br>課題レポート |
|    | 技 能 ・ 表 現 | 方程式と不等式、2次関数、図形と計量において、事象を考察し、推論の方法を身につけ、解決する。   | 授業時の様子、発表<br>ノート確認 小テスト<br>課題レポート |
|    | 知 識 ・ 理 解 | 方程式と不等式、2次関数、図形と計量における基本的な概念などを理解し、基礎的な知識を身につける。 | 授業時の様子、発表<br>ノート確認 小テスト<br>課題レポート |
|    |           |  | 定期テスト 80 % 授業・提出物等                |
| 2  | 関心・意欲・態度  | 集合と論理、場合の数と確率、平面図形における考え方に興味をもつとともに、そのよさを認識する。   | 授業時の様子、発表<br>ノート確認 小テスト<br>課題レポート |
|    | 思 考 ・ 判 断 | 集合と論理、場合の数と確率、平面図形における数学的な見方、考え方を身につけ、事象を論理的に考える | 授業時の様子、発表<br>ノート確認 小テスト<br>課題レポート |
|    | 技 能 ・ 表 現 | 集合と論理、場合の数と確率、平面図形において、事象を考察し、推論の方法を身につけ、解決する。   | 授業時の様子、発表<br>ノート確認 小テスト<br>課題レポート |
|    | 知 識 ・ 理 解 | 集合と論理、場合の数と確率、平面図形における基本的な概念などを理解し、基礎的な知識を身につける。 | 授業時の様子、発表<br>ノート確認 小テスト<br>課題レポート |
|    |           |  | 定期テスト 80 % 授業・提出物等                |
| 3  | 関心・意欲・態度  | 過去のセンター試験を解かせ、傾向と対策に関心をもたせる。                     | 授業時の様子、発表<br>ノート確認 小テスト<br>課題レポート |
|    | 思 考 ・ 判 断 | 過去のセンター試験を解かせ、その傾向について考察させる。                     | 授業時の様子、発表<br>ノート確認 小テスト<br>課題レポート |
|    | 技 能 ・ 表 現 | センター試験を過去5カ年分ほど、解かせる。                            | 授業時の様子、発表<br>ノート確認 小テスト<br>課題レポート |
|    | 知 識 ・ 理 解 | 過去のセンター試験を解くことにより、傾向を知る。                         | 授業時の様子、発表<br>ノート確認 小テスト<br>課題レポート |
|    |           |  | 定期テスト 80 % 授業・提出物等                |